

## 研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19188
課題名	がん看護ジェネラリスト育成研修プログラムの取り組み—調査結果からの分析—
研究期間	倫理委員会承認日～ 2021年 3月 31日
研究の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年3月までに旭川医科大学病院看護部で開催した「がん看護ジェネラリスト育成研修プログラム」を修了したがん看護ジェネラリスト認定者と、認定者の所属部署または育成部署の看護師長</li> <li>・2016年度から2018年度のがん看護ジェネラリスト育成研修プログラムの全プログラムを修了した研修受講者</li> </ul>
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報 (詳細: ) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名: ) <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (2016年度に実施した「がん看護ジェネラリストの役割開発に関する調査」のアンケートと聴き取り調査結果、2016年度から2018年度的全プログラムを修了した研修受講者の研修から得た学びのアンケート結果)
研究の意義、目的	<p>旭川医科大学病院では、がん看護の専門的知識と技術を、4年間継続して段階的に教育する「がん看護ジェネラリスト育成研修プログラム (以下プログラム)」を実施しています。全プログラムを修了した受講者を「がん看護ジェネラリスト (以下ジェネラリスト)」として認定し、2011年開始から9年目を迎え、57名のジェネラリストを育成してきました。プログラム開始から5年経過した時点で、ジェネラリストがプログラムから得た学びについて分析し、研修プログラムの効果について評価しました。全ジェネラリストが得た学びを活用できると評価し、アセスメントの視点が広がり、患者・家族の理解が深まることで、看護ケアの自信につながっていることが明らかになりました。しかし、学びの実際の活用や実践の変化は不明瞭のままとなっています。そこで、プログラムの経過を振り返り、ジェネラリストの活動の実態調査や研修修了者の研修後アンケートの分析を通して、今後のプログラム内容やジェネラリストの活動支援について検討したいと考えています。</p>
研究の方法	<p>2016年度に実施した「がん看護ジェネラリストの役割開発に関する調査」のアンケート結果の集計と聴き取り調査結果の質的分析を行います。</p> <p>2016年度から2018年度的全プログラムを修了した研修受講者の研修から得た学びのアンケート結果の質的分析を行います。</p> <p>2011年度から2018年度のプログラム実施体制の変遷について振り返ります。</p>
その他	

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、研修受講者、看護管理者にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研修受講者、看護管理者に不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者</p> <p>所 属：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 看護師</p> <p>氏 名：尾崎 靖子</p> <p>電話番号：0166-69-3220</p>
---------	--